



第10回 「Claude Code 101」 Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

スキル

公式の教材を、順番に

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

この資料について



原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）Claude Code 101 / Skills

原文の流れと節の並びをそのままに、要点を落とさず日本語にしています

全51回の、今日はここ



原石工房

Claude Code 101

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

第1回～第12回

Claude Code in Action

13 14 15 16 17 18 19 20 21

第13回～第21回

スキル

22 23 24 25 26 27

第22回～第27回

手分け (subagents)

28 29 30 31

第28回～第31回

MCP 入門

32 33 34 35 36 37 38 39 40

第32回～第40回

MCP 応用

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

第41回～第51回

今日はここ 第10回

今日のレッスン



原石工房

Claude Code 101 の10こめ

原題 Skills

訳 スキル

4つの節があります

このレッスンの流れ



原石工房

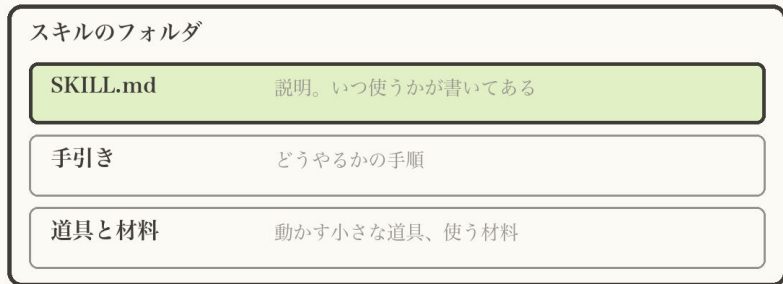
教材の並びどおり。この番号が、このあとの見出しに出てきます

- ① スキルとは何か
- ② どこに置くか、何に使うか
- ③ ほかのやり方との違い
- ④ どんなときに使うか

① スキルとは何か

原題 Skills

スキルは、フォルダのかたまり



Claude は、SKILL.md の説明を見て、いつ使うかを自分で決める

一度説明すれば、当てはまる場面で自動で使われる

スキルは、書き方の決まりを一度だけ説明しておけば、当てはまる場面で自動で使われる文書ファイルです

形はフォルダで、中には手引き・動かす小さな道具・使う材料が入ります

SKILL.md に説明が書いてあり、Claude はそれを見て、いつ使うかを自分で決めます

① CLAUDE.md と、スキルの使い分け



原石工房

CLAUDE.md と、スキルの使い分け

CLAUDE.md

どのやりとりでも読まれる

そのプロジェクトの事情

毎回知っていてほしいこと

スキル

当てはまったときだけ読まれる

決まった仕事のやり方

専門の手順と、使う材料

どちらも文書ファイル。違うのは「いつ読まれるか」だけ

毎回要るなら CLAUDE.md、ときどき要るならスキル

② どこに置くか

置き場所が2つある

自分の分

ホームのフォルダ

どのプロジェクトでも使える

プロジェクトの分

そのプロジェクトのいちばん上

持ってくると、一緒に付いてくる

チームで決めたことは、プロジェクトの分に置く

どちらも `.claude/skills` という名前のフォルダ

自分の分 `.claude/skills` をホームのフォルダに置く。どのプロジェクトでも使えます

プロジェクトの分 `.claude/skills` をそのプロジェクトのいちばん上のフォルダに置く

そのプロジェクトを持ってくると、一緒に付いてきます

② 何に使うか



原石工房

置き場所が2つある

自分の分

ホームのフォルダ

どのプロジェクトでも使える

プロジェクトの分

そのプロジェクトのいちばん上

持ってくると、一緒に付いてくる

チームで決めたことは、プロジェクトの分に置く

チームで決めたことは、プロジェクトの分に置きます

書き方の決まり、書類の形など、全員で揃えたいもの

どちらも `.claude/skills` という名前のフォルダ

① ② ここで出てきた言葉



原石工房

2つ

スキル

やり方をまとめて覚えさせておく仕掛け

SKILL.md

そのスキルの中身と、いつ使うかを書いたファイル

③ ほかのやり方との違い

いつ読まれるかが、違う

CLAUDE.md

いつ読まれるか： どのやりとりでも必ず

自動

スキル

いつ読まれるか： 当てはまったときだけ

自動

「/」で始まる命令

いつ読まれるか： 打ち込んだときだけ

自分で打つ

CLAUDE.md は、どのやりとりでも必ず読まれます

スキルは、頼みごとに当てはまったときだけ読まれます

「/」で始まる命令は自分で打ち込みます。スキルは自動で当たります

必要なときだけ読まれる。そこがスキルの値打ち

④ どんなときに使うか



原石工房

こんなときに使う

書いたものを見直すときの基準

確定のときに残す説明文の、書き方の好み

会社として決めている、見た目や言葉づかいの決まり

同じ説明を何度もしているなら、それはスキルにできる

書いたものを見直すときの基準

確定のときに残す説明文の、書き方の好み

会社として決めている、見た目や言葉づかいの決まり

目印は「また同じことを言っているな」

④ 目印



原石工房

こんなときに使う

書いたものを見直すときの基準

確定のときに残す説明文の、書き方の好み

会社として決めている、見た目や言葉づかいの決まり

同じ説明を何度もしているなら、それはスキルにできる

同じ説明を何度もしているなら、それはスキルにできます

※ CLAUDE.md = そのフォルダでの決めごとを書いておく
ファイル (第8回)

目印は「また同じことを言っているな」

今回のまとめ



原石工房

この回で押さえるところ

- ・スキルは、当てはまったときだけ読まれる文書ファイル
- ・SKILL.md の説明を見て、Claude が自分で使いどきを決める
- ・自分の分と、プロジェクトの分がある
- ・CLAUDE.md は毎回、スキルはときどき
- ・同じ説明を何度もしているなら、スキルにできる

次回



原石工房

Claude Code 101 の11こめ

原題 MCP

訳 MCP（外の道具につなぐ）

全51回の、11回目です

あなたなら、どの説明をスキルにしますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く